

2026 年度信州大学工学部工学科_設置構想中
※設置計画は予定であり、内容が変更になる場合があります。

令和 8 年度 総合型選抜 I
先鋭融合コース「小論文」のサンプル問題

令和 8 年度総合型選抜 I に出題する先鋭融合コース「小論文」について、イメージ共有のため「サンプル問題」を公表します。

小論文の課題

現代の技術は急速に進化し、複数の工学分野が相互に融合することで新たな価値が生まれています。例えば、情報サイエンス分野と知能機械分野の融合による AI 制御の自動運転車、応用化学分野と建築学分野の融合による快適な居住空間を実現するための材料開発などが挙げられます。このような融合技術は、従来の枠組みを超えた革新的な解決策を提供し、社会に大きな影響を与える可能性があります。ここで現代社会における課題に対し、融合技術により解決する方法を考えます。以下について記載してください。

- ① 現代社会における課題をなにか一つ取り上げてください。
- ② ①の課題を解決するため、工学の中のどのような分野を融合しますか？以下の 9 分野から 2 分野を選択してください。
[応用化学分野、環境・エネルギー材料分野、水環境・土木分野、電気電子分野、機械物理分野、知能機械分野、建築学分野、情報サイエンス分野、情報デザイン分野]
- ③ ②で選択した 2 分野を融合させて①の課題をどのように解決するのか？できるだけ具体的に説明してください。なお、説明のために図表等を用いても構いません。

(※) 小論文の様式に記載の注意事項に留意してください。

(※) ②の問題文に記載の 9 分野は信州大学工学部工学科の各コースに対応した分野です。

サンプル問題

受験番号	※
令和	年 月 日

小論文

フリガナ	-----
氏名	

以下の枠内に記入してください。

①	
②	
③	

- 手書きで作成する場合は黒のボールペン又はインクではっきり読み取れるように記入してください。
- ※印欄は記入しないでください。
- 新聞、書籍やWEBページ等から引用をおこなった場合には、引用元を明記してください。

サンプル問題

受験番号	※
フリガナ 氏 名	-----

(3)

1. 手書きで作成する場合は黒のボールペン又はインクではっきり読み取れるように記入してください。
2. ※印欄は記入しないでください。
3. 新聞、書籍や WEB ページ等から引用をおこなった場合には、引用元を明記してください。